

トップ  
コミットメント

サステナビリティ  
推進体制

JFRの  
マテリアリティ

低炭素社会への  
貢献

サプライチェーン  
全体のマネジメント

地域社会との  
共生

ダイバーシティ  
の推進

ワーク・ライフ・  
バランスの実現

事業会社の  
ESGの取り組み

ガバナンス

データ集

→ JFRお取引先様行動原則の策定と浸透 Scope3温室効果ガス 循環型社会の実現に向けて

2030

JFRお取引先様行動原則

100%  
浸透



## サプライチェーン 全体のマネジメント

JFRグループは  
サプライチェーンの皆様とともに  
ESG課題に取り組み  
持続可能な成長につなげていきます。

2030

Scope3 温室効果ガス排出量

40%削減  
を目指す  
(2017年度比)

Scope3温室効果ガス算定

約378万t  
(2019年度、連結)



JFRお取引先様行動原則

2019年度「JFRお取引先様行動原則」策定

9,444社送付  
(2019年度、連結)



JFRお取引先様行動原則説明会

530社出席  
(大丸松坂屋百貨店)



トップ  
コミットメント

サステナビリティ  
推進体制

JFRの  
マテリアリティ

低炭素社会への  
貢献

サプライチェーン  
全体のマネジメント

地域社会との  
共生

ダイバーシティ  
の推進

ワーク・ライフ・  
バランスの実現

事業会社の  
ESGの取り組み

ガバナンス

データ集

→ JFRお取引先様行動原則の策定と浸透 Scope3温室効果ガス 循環型社会の実現に向けて

## 背景

経済のグローバル化やステークホルダーのニーズの多様化に伴い、商品、資材、原料などを調達する際、従来の品質や性能に加え、環境への配慮、労働環境、人権問題などの課題へのサプライチェーン全体での対応が求められています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、サプライチェーンの寸断が発生し、持続可能なサプライチェーン構築の必要性が一層高まっています。



## サプライチェーン 全体のマネジメント

### 考え方

JFRグループは、原材料調達から製造・販売・消費までのサプライチェーンにおける販売・サービスを中心とした役割を担っています。環境・社会課題の解決のためには、お取引先様を含むサプライチェーン全体で取り組むことが重要と認識しています。当社グループが考える果たすべき社会的責任の遵守や、環境や人権に配慮した取り組みの推進により、サプライチェーン上のリスクを排除し、お取引先様とともに企業価値向上を実現します。

### 取り組みの 概要

当社グループが考える果たすべき社会的責任の基本的な考え方を明文化し、役員・従業員で遵守し、お取引先様にもご理解・遵守いただくための積極的な働きかけを行います。また、サプライチェーン全体での温室効果ガスの削減に取り組めます。

- JFR行動原則・JFRお取引先様行動原則策定
- お取引先様への働きかけ
- Scope3温室効果ガス排出量の算定と第三者保証の取得
- 循環型社会の実現につながる取り組み

### 体制



⇒ サステナビリティ委員会

### 方針



⇒ JFR行動原則  
⇒ JFRお取引先様行動原則